

社団法人 奈良まちづくりセンター

代表者	室 雅博
所在地	〒630-8333 奈良市中新屋町 2-1 奈良町物語館内
設立年月日	1979年11月(84年5月社団法人)
URL	http://www4.kcn.ne.jp/~nmc/

【設立趣旨】

伝統的町家と町並みが比較的まとまって残る奈良市旧市街地のいわゆる元興寺界隈の奈良町において、市役所が1977年に西部に移転し、奈良町を分断する都市計画道路問題が生じた。これを憂えた当時20代、30代の若者が79年に立ち上がり、歴史的町並みの保全・再生と活性化を求めて地道な調査活動を積み上げ、84年には社団法人格を得た。

奈良町は和銅3年(710年)飛鳥・藤原京から唐・長安の都城制に倣った平城京に遷都し、その外京に立地するものである。784年長岡京・794年に平安京に遷都した際、寺社は取り残され、宗教都市、地場産業都市、観光都市として栄えた、1300年の歴史の残る「まち」である。何んとしても歴史を掘り起こし、「まち」に誇りを取り戻そうと努力した。

【沿革】

主なものは次のとおりである。

1981年奈良町フェスティバル・奈良町講座開催 82年奈良市町並み建造物群調査 83年歴史的街区における都市計画道路のあり方と住民による町並み協定に関する研究 85年奈良市HOPE計画調査 89年奈良市伝統工芸・地場産業実態調査、奈良町博物館都市構想調査 92年マレーシャ・ペナンとの交流始まる 93年市民公益活動基盤調査に関する調査研究 94年市民活動促進のための法と制度のあり方に関する研究 95年奈良町物語館開設、まちづくり草の根国際フォーラム in NARA開催 96・97年奈良市新産業創造研究調査 98年～街なみ環境整備計画調査(高取町土佐地区、宇陀・松山地区、大和郡山へ) 2004年「賑・ならまち25」開催 06年～「奈良市ならまち格子の家」指定管理者へ

【活動目的】

- 奈良の風土や町並みなどの歴史的環境保全とそれらを活かした地域振興活動の展開を通して新しい「ふるさと奈良」を創生する。
- 住民による自主・自立のまちづくりやむらづくりをとおして市民主導行政支援型のまちづくりを推進する。○ 住民による自主・自立のまちづくりやむらづくりが地域社会に根付くよう支援を行う。
- 奈良に根ざしたシンクタンクとして調査研究活動を推進し、提言や提案を行う。
- 全国のまちづくり活動やアジアを中心とする世界のまちづくり活動とのネットワークを形成する。

【活動内容】

○ まちづくりの推進では、大和の風景・景観を守り育てる活動については引き続きデータベース化を推進するとともに、内部に「景観研究会」を持ち、他のNPOと協働して沿道景観の調査研究やシンポジウムなどを開いている。また、地域に学ぶ「ラーニング・コミュニティ構想」の1つとして奈良町に魅せられた学生や院生によるグループ「楽生座」が奈良まちづくりセンターの一環として活動している。その他、拠点の奈良町物語館において各種イベントなど歴史的町並みからの文化創造や協働活動を行っている。



岩崎平太郎展

- まちづくりの交流では、奈良町物語館を活用した交流の推進のほか、県内外のまちづくり団体・NPO、大学・学会などとの交流を深めている。とりわけ、アジアの歴史都市のまちづくりNPOとは相互に学ぶところが多いので、それらとのネットワークの拡充に努めている。
- まちづくりの支援では、「大和まちづくり技術者ネッ



25周年イベント



大和まちづくりネットワーク会議



三輪地域における景観まちづくりシンポジウム(200602)



まちを育てる



国際交流ワークショップ「開かれた教室としての都市一町並み保全の多様性とダイナミズム」の共同開催/ペナン

【活動上の課題と今後の展望】

- 昨今の経済情勢により財政基盤が弱くなり、専従職員を確保できないままスタッフも高齢化している。このため、活動面においても地域の課題が複合化して総合的な対応が求められるが、成果を挙げるのは厳しくなっている。また、行政との新たな関係づくりもなかなか難しい状況である。
- 2009年11月には最初の活動から30年、法人化後25年を迎える。たまたま2010年は平城遷都1300年に当たるので、それとタイアップする形で次の記念事業などを計画している。
- ① 「アジアの歴史都市と奈良における住まいと暮らし」伝統的住まいパネル展とフォーラム
日本の住まいに影響を与えた韓国、中国、東南アジアとの共通点・相違点を探り、アジアと日本の住まいのアイデンティティを検証する。09年4月に韓国の伝統的「韓屋」視察もすすめている。
- ② 「暗越(くらがりごえ)奈良街道サミット」
奈良と大坂を結んだ古代の官道である暗越奈良街道の沿道4市の市民グループがクラブをつくり、歴史の掘り起こしと継承のため、2010年は奈良でサミットを行う。